

第VI部 安全衛生関係団体の組織及び活動

- 1 国立労働安全衛生研究所（National Institute for Occupational Safety and Health ; 略称 NIOSH : <https://www.cdc.gov/niosh/index.html> (2026年2月16日に再確認しました。)

以下には、NIOSH のホームページから重要と思われる記述を抜粋して、これらの「英語原文ー日本語仮訳」の形式で紹介します。

| | |
|--|--|
| About National Institute for Occupational Safety and Health JAN. 17, 2024 | 国立労働安全衛生研究所について 2024年1月17日掲載 (2026年2月16日に原典の記述に変更がないことを確認しました。) |
| AT A GLANCE The National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH) is the federal institute responsible for conducting research and making recommendations for the prevention of work-related injury and illness. NIOSH is part of the Centers for Disease Control and Prevention (CDC), in the Department of Health and Human Services (DHHS). | 概要 国立労働安全衛生研究所（NIOSH）は、労働災害及び職業病の予防に関する研究の実施と提言を行う連邦政府機関です。NIOSH は、保健社会福祉省（DHHS）傘下の疾病予防管理センター（CDC）の一部を構成しています。 |
| Our mission | 私たちの使命 |

| | |
|---|--|
| <p>To develop new knowledge in the field of occupational safety and health and to transfer that knowledge into practice.</p> | <p>労働安全衛生分野における新たな知見を開発し、その知見を実践に移すこと。</p> |
| <p>Our vision</p> <p>Safer, Healthier Worker</p> | <p>私たちのビジョン</p> <p>より安全で健康な労働者</p> |
| <p>Our organization</p> <p>NIOSH has the mandate to assure "every man and woman in the Nation safe and healthful working conditions and to preserve our human resources." The Occupational Safety and Health Act of 1970 established the National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH) as a research institute focused on the study of worker safety and health, and empowering employers and workers to create safe and healthy workplaces. It has more than 1,300 employees spread across the United States, from a diverse set of fields including epidemiology, medicine, nursing, industrial hygiene, safety, etc. Visit the NIOSH Careers page to learn more.</p> <p>Learn more about the history of NIOSH on the NIOSH 50th Anniversary and Milestones in NIOSH History web pages.</p> | <p>当機関について</p> <p>NIOSH は「国内のすべての労働者に安全で健康的な労働条件を保証し、人的資源を保全する」ことを使命としています。1970 年職業安全衛生法により設立された国立労働安全衛生研究所（NIOSH）は、労働者の安全と健康に関する研究に特化した研究機関であり、使用者雇及び労働者が安全で健康的な職場を創出できるよう支援しています。全米に 1,300 名以上の職員を擁し、疫学、医学、看護学、産業衛生学、安全学等多様な分野の専門家が在籍しています。</p> <p>詳細は NIOSH 採用情報ページをご覧ください。</p> <p>NIOSH の沿革については、NIOSH 創立 50 周年及び NIOSH の歴史的節目に関するウェブページをご覧ください。</p> |
| <p>Strategic Plan</p> | <p>戦略計画</p> |

| | |
|---|---|
| <p>The NIOSH Strategic Plan reports the Institute's research and service goals. These goals address a broad range of occupational health and safety hazards, affecting an ever-changing workforce.</p> | <p>NIOSH 戦略計画は、当研究所の研究及びサービス目標を報告するものである。これらの目標は、絶えず変化する労働力に影響を与える、幅広い職業上の健康と安全の危険に対処するものである。</p> |
| <p>NIOSH Strategic Plan</p> <p>AT A GLANCE</p> <p>The NIOSH Strategic Plan reports NIOSH's research and service goals for fiscal years (FY) 2019–2026.</p> <p>Overview</p> <p>The NIOSH Strategic Plan reports the Institute's research and service goals for fiscal years (FY) 2019–2026. These goals address a wide range of occupational health and safety hazards, affecting a workforce that constantly changes.</p> <p>Jobs in the U.S. economy continue to shift from manufacturing to services. They also have longer hours and reduced job security, alongside an aging</p> | <p>戦略計画</p> <p>一目でわかる。</p> <p>NIOSH 戦略計画は、2019～2026 会計年度における NIOSH の研究およびサービス目標を報告する。</p> <p>概要</p> <p>NIOSH 戦略計画は、当研究所の研究及びサービス目標を報告するものである。これらの目標は、絶えず変化する労働力に影響を与える、幅広い職業上の健康と安全の危険に対処するものである。</p> <p>米国経済における雇用は、製造業からサービス業へと移行を続けている。また、労働時間の長期化や雇用不安の増大、労働力の高齢化も進行している。こうした課題は、NIOSH の限られた研究資源にとって重大な課題となっている。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>workforce. These issues are a major challenge for NIOSH's limited resources for research priorities.</p> <p>NIOSH recognizes that new issues may emerge or become more important during the plan's timeframe. We may retire goals that we have achieved. We may also shift our priorities in response to changing conditions.</p> <p>NIOSH will give funding priority to extramural research applications that clearly identify the strategic and intermediate goals their proposed work will address or support.</p> | <p>NIOSH は、計画期間中に新たな課題が発生したり重要性が増したりする可能性があることを認識している。達成した目標は廃止する場合もある。また、状況の変化に応じて優先順位を変更することもある。</p> <p>NIOSH は、提案された研究が対応または支援する戦略目標及び中間目標を明確に特定した外部研究申請に対し、資金配分の優先順位を付与する。</p> |
| <p>Plan development</p> <p>NIOSH chose to use three levels of goals: strategic, intermediate and activity. Research and service program staff wrote goals collaboratively using the Burden, Need, and Impact Method. They considered a variety of information to choose priorities, such as surveillance data, partner input, and legislative requirements.</p> <p>Research and service activities are considered separately in the plan because they operate differently.</p> | <p>計画策定</p> <p>NIOSH は戦略目標、中間目標及び活動目標の 3 段階の目標設定を採用した。研究及びサービスプログラム担当者は「負担・必要性及び影響手法」を用いて共同で目標を策定した。優先順位決定にあたっては、監視データ、パートナー機関からの意見、法的要件等多様な情報を考慮した。</p> <p>研究活動とサービス活動とは運営方法が異なるため、本計画では別個に扱われる。</p> |
| <p>Research programs</p> <p>NIOSH has a portfolio of research programs, organized according to the National Occupational Research Agenda (NORA) framework.</p> | <p>研究プログラム</p> <p>NIOSH は、国家職業研究アジェンダ (NORA) の枠組みに基づいて編成された一連の研究プログラムを有しています。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>NIOSH's 10 sector programs focus on industrial sectors. Seven cross-sectors programs focus on the major health and safety issues affecting the US working population. They form a program grid infused with core and specialty programs representing:</p> <ul style="list-style-type: none">• Core activities• Mandates• Special emphasis areas• Methodological approaches | <p>NIOSH の 10 のセクター別プログラムは産業分野に焦点を当てています。7つのクロスセクタープログラムは、米国の労働人口に影響を与える主要な健康及び安全問題に焦点を当てています。これらは、中核プログラムと専門プログラムとを融合したプログラム・グリッドを形成し、以下を表しています：</p> <ul style="list-style-type: none">• 中核活動• 法的義務• 重点分野• 方法論的アプローチ |
|--|--|

2 全米安全評議会(National Safety Council : 略称 NSC : <https://www.nsc.org/company>) : 最終閲覧日及び改訂日 : 2026年2月16日

アメリカの安全衛生関係団体で、最も活発に活動しているものの一つは、全米安全評議会(National Safety Council : NSC)です。NSCは、すべての人々の安全と健康や快適な環境の保持を目的とする非政府非営利団体で、1913年に職場の安全衛生の向上を目指す団体としてスタートし、その後、職場に限らず災害一般を対象に災害防止のための様々な活動を展開しています。NSCは、1953年に連邦法上認められた組織となり、今日に至っていますが、現在では、労働安全の指導者養成、労働者の安全衛生確保、自動車運転、救急措置等の分野に関する教育訓練講習会を幅広く実施しています。また、毎年、アメリカ合衆国内での職場、自動車事故、家庭内、社会等における傷害事故に関する年報(例えば、Injury Facts)を頒布しています。さらに、毎年開催される大会及び展示会には15000~18000人の安全と健康に関する専門家が参加しています。

3 アメリカ産業衛生協会 (American Industrial Hygiene Association : 略称 AIHA : <https://www.aiha.org/>) 。最終閲覧日 : 2026年2月16日

アメリカ産業衛生協会(以下単に「AIHA」という。)は、1939年に設立され、その会員のために、最も高い専門的能力を達成し、及び維持することに捧げることを目的としている非営利組織であり、その使命は、労働者の健康を保護するための知識を創造し、職場における(業務関連の)疾病を除去することであるとされています。

約8500人以上に達する会員の半ば以上が、認定インダストリアル・ハイジニスト((Certified Industrial Hygienist ; 略称 : CIH))として認証されている者であって、さらに彼等の多くは他の専門的な資格をも保持しています。また、AIHAは、労働衛生、環境衛生及び労働安全の分野の専門家としての能力を維持するための包括的な教育訓練プログラムを管理運営しています。

このほか、AIHAは、アメリカ合衆国内で、毎年、ACGIHと協力して、労働者の健康を守るための新しい手段と戦略、経験及び情報交換等を目的として、世界中から数千人の産業衛生に関する専門家が参集する大会(AIHceと呼ばれている。)を主催しています。

4 アメリカ労働衛生専門家会議 (American Conference of Governmental Industrial Hygienist;略称 ACGIH : <https://www.acgih.org/>)

(最終閲覧日 : 2026 年 2 月 16 日)

アメリカ労働衛生専門家会議 (American Conference of Governmental Industrial Hygienists;略称 ACGIH) は、1938 年にその先駆的な団体 (The independent National Conference of Governmental Industrial Hygienists (NCGIH)) として発足し、1946 年に現在の ACGIH として再編成され、当初の連邦又は州政府に関連するインダストリアス・ハイジニストに限定されていた会員資格を、外国の政府関係機関に勤務するインダストリアス・ハイジニストにも広げました。その後 2013 年に、産業衛生、労働衛生、労働安全の分野に従事するすべての専門家が会員の資格を得ることができるようになりました。

ACGIH の活動として最もよく知られているのは、Threshold Limit Values for Chemical Substances (TLV®-CS) Committee (化学物質についての抑制濃度委員会) が、1956 年以来公表している“Threshold Limit Values (TLVs®)” 及びその科学的根拠をまとめて 1962 年以来公表している Documentation of the Threshold Limit Values であり、さらには物理的因子の許容限界、一定の化学物質についての Biological Exposure Indices (BEIs®) (生物学的ばく露指標) です。

5 アメリカ規格協会 (American National Standardization Institute; 略称 ANSI : <https://www.ansi.org/> : 最終閲覧日 : 2026 年 2 月 16 日)

アメリカ規格協会(ANSI)は、1918 年に創立された、民間の非営利団体です。ANSI は、ほとんどすべての産業分野—音響装置から建設設備、日用品から畜産まで、さらにはエネルギー供給まで、そしてさらに多くの産業分野で—直接にビジネスに影響を与える数千にのぼる規格及びガイドラインの策定、普及及び使用についてカバーしています。

その使命は、任意的なコンセンサス基準及び確認システムを機能させ、さらにはこれらの活動を統合させてセイフガード機能を発揮させることによって、アメリカ合衆国のビジネス上の世界的規模での競争力及び生活の質 (quality of life) を高めることです。

ANSI は、延べ 10,000 件以上のアメリカ合衆国国内規格を開発してきた実績を有していますが、比較的最近における労働安全衛生に関連した規格としては 2005 年の OHSS(Occupational Health and Safety Systems についてのアメリカ合衆国国内規格)を 2012 年に改訂した“ANSI/AIHA Z10-2012、Occupational

Health and Safety Management Systems”（その後改訂されて現在のものは、ANSI/ASSP Z10.0-2019 - Occupational Health and Safety Management Systems）の策定が挙げられます。